



神奈川県立 鶴見高等学校 グランドデザイン

学校教育目標

生徒の多様なチャレンジを引き出し、校是「文武両道・自主自立」校訓「探求 真善美」を具現化し、社会的・職業的に自立し、様々な人々と協働し社会に貢献する人材を育成する。

具体的の方策

- 課題発見・解決能力等を育むための「新たな学習評価」の研究
- 鶴見高校生徒指導方針に基づく全職員一貫した指導
- 教科横断的・探究的な学習を取り入れた「総合的な学習の時間」の研究
- 特別活動等における地域・同窓会・保護者等との協働
- 生徒と向き合う時間を確保するための業務改善（校務情報化・効率化）

生徒と教職員がともに
Challenge
する学校

CHALLENGE

3年間の様々な教育活動を通して、生徒は多様なチャレンジを繰り返します。

総合的な学習の時間における探究学習

小さな教育活動の中で多様なチャレンジをしていきます。

修学旅行

3年間の様々な教育活動を通して、多様な入試（ペーパーテスト、小論文、口頭試問、プレゼンテーション、自己表現）にチャレンジできる力を身に付けます。

課題を発見させる学習活動

「見出す力」を育む特別活動

「文武両道」をめざした部活動

「探求 真善美」めざした探究学習

「自主・自立」をめざした学校行事

グローバル社会・情報社会・地域社会で
様々な人々と協働して社会貢献

社会的・職業的に自立

生徒一人ひとりの進路実現

鶴見高校で育む資質・能力

- 身に付けた知識・技能を活用して、自ら課題を発見し解決する力
- 困難な問題や未経験のことに積極的にチャレンジする力
- 社会的・職業的に自立し、様々な人々と協働して社会に貢献する力

課題

- 引き続き、確かな学力を育成するためにより一層、授業改善に取り組む必要がある。
- 自宅学習の習慣を身に付けさせる必要がある。○生徒と向き合う時間をより一層確保する必要がある。
- 全教員が一丸となってブレない生徒指導を行う必要がある。
- 大学進学後のビジョンを持たせる必要がある。

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
新たな学習評価の研究 計画・実施・評価・改善・計画	新たな学習評価の研究 実施・評価・改善・計画	新たな学習評価の研究 実施・評価・改善・計画	新たな教育課題についての 研究
生徒指導方針の策定・実施	生徒指導方針に基づく生徒指導・生徒支援		
「総合的な学習の時間」の 検証・改善・計画	「総合的な学習の時間」の 実施・評価・改善・計画	「総合的な学習の時間」の 実施・評価・改善・計画	「総合的な学習の時間」の 実施・評価・改善・計画